

平成 22 年第 8 回庄原市議会定例会

一般質問通告者
及び
質問事項

12月8日～12月10日

質問順位

1 . 宇江田 豊 彦	2 . 藤 木 邦 明
3 . 岡 村 信 吉	4 . 横 路 原 政
5 . 田 中 五 郎	6 . 中 原 本 巧
7 . 徳 永 泰 臣	8 . 坂 本 義 明
9 . 谷 口 隆 明	10 . 小 谷 鶴 義
11 . 林 高 正	12 . 福 山 権 二
13 . 門 脇 俊 照	

庄 原 市 議 会

平成22年12月定例会 一般質問

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	宇江田豊彦	平成23(2011)年度予算編成方針について	1
		循環型森林政策確立に向けて	2
		進路保障の取り組みについて	3
2	藤木邦明	庄原保育所等の新築工事を市内の木造建築専門の工務店が施工できるようにすることについて	4
		市庁舎の新築関係の工事の不具合を瑕疵担保期間内に完全に修復することについて	4
		二重燃焼する薪ストーブの購入に補助金を交付することについて	4
		新婚世帯の家賃支援補助金交付の年齢制限を45歳未満まで緩和することについて	5
		まちづくり条例を真に市民本位のものとして作成することについて	5
		庄原小学校等の新築を木造にすること等について	5
3	岡村信吉	農業振興について	6
4	横路政之	定住自立圏構想について	7
		うつ病・DV対策について	7
		ワクチンへの公費助成について	8
		期日前投票の簡素化について	8
5	田中五郎	クマ・イノシシとの共生社会をどう築くのか	9
		グリーン・ツーリズム型観光の推進を	9
		教育・文化行政の充実を	9
6	中原巧	土木事業の発注遅延対策について	10

順位	質問議員	質問項目	ページ
7	徳永泰臣	本市の農業に雇用を生み出せるか	11
8	坂本義明	まちづくり基本条例について 庄原さとやま博について	12 12
9	谷口隆明	地域主権改革について 「新しい公共」について 介護保険の改善について 東城クリーンセンターへの指定管理者制度の導入について	13 13 14 15
10	小谷鶴義	TPP問題について グリーンケミカル株式会社の操業について 教育格差について	16 17 17
11	林 高正	発達障害児について 知的障害者について 集落支援員制度について 未来を支える人づくりについて	18 18 18 19
12	福山権二	林業振興について 地籍調査について	20 20
13	門脇俊照	社会保障関係費について 防災行政無線について	21 21

一般質問

12月 8日（水）宇江田豊彦・藤木邦明・岡村信吉・横路政之・田中五郎

12月 9日（木）中原巧・徳永泰臣・坂本義明・谷口隆明

12月10日（金）小谷鶴義・林高正・福山権二・門脇俊照

順位	1	質問者	宇江田 豊彦	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
1.平成23(2011)年度予算編成方針について	<p>昨年度決算を受け、来年度予算編成にどのような方針で臨もうとされているのか、具体的に伺う。</p> <p>(1)雇用不安・米価暴落・景気対策・災害復旧・大型建設事業・情報化・交通網確立・生活福祉向上に向けた課題が目白押しであり、十分な施策対応はできないと思うが、どのようにお考えか伺う。</p> <p>(2)近年政府においては、無理とも思える予算の増額を続けており、国の財政運営のつけが近い将来訪れると予測され、地方自治体にも大きな問題となると考える。対応するための方針、具体的予算のありようを考えなければならない時期を迎えていると思うが、どのようにお考えか伺う。</p> <p>(3)合併からもう少しで6年となり、交付税等、特別措置が受けられなくなる時期が迫っている。(1)(2)で質問した内容を踏まえ、具体的に予算を組むべきと思うが、どのようにお考えか伺う。</p>	市長		

順位	1	質問者	宇江田 豊彦	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
2.循環型森林政策確立に向けて	<p>本市面積の84%を超える山林は、保水力によって自然災害から市民を守り、貴重な資源として活用されてきた。また、本市においてはバイオマстаун構想によって、さらなる活用をめざしており、ますます重要度が高まっている。そのような背景を踏まえ、具体的に伺う。</p> <p>(1) 政府によって進められている公益法人制度改革にともない、山林管理を行っている財団にも課税されることにより、財産としての山林を一気に木材として売却される可能性もある。さらに全伐が進むことも考えられるが、どのようにお考えか伺う。</p> <p>(2) バイオマстаун構想を進めようすれば、必ず循環型の森林を造りあげなければならないと思うが、どのようにお考えか伺う。</p> <p>(3) 構想の取り組みの一例であるペレット製造において、より循環型森林政策実現のための役割を果たしてくれると思っていたが、林地残材など活用が不十分であり、当初めざしたものになっていないと考えるが、どのようにお考えか伺う。</p>	市長		

順位	1	質問者	宇江田 豊彦	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
3. 進路保障の取り組みについて	<p>平成 10(1998) 年文部科学省は正指導以来、広島県の教育実態は後退を続け、高校進学率は平成 21(2009) 年には全国 40 位になるなど、深刻な状況となっている。そこで、本市の実態について具体的に伺う。</p> <p>(1) 今年 3 月の中学校卒業者数と進路状況について伺う。</p> <p>(2) 高校進学後、進路変換を余儀なくされた件数と内容について伺う。</p> <p>(3) 子どもたちが希望する進路保障をするため、今後どのような取り組みを進めようとお考えか伺う。</p>	教育長		

順位	2	質問者	藤木 邦明	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
1. 庄原保育所等の新築工事を市内の木造建築専門の工務店が施工できるようにすることについて	<p>庄原保育所等の新築は木造になると考えるが、工事の発注にあたっては完全な施工がおこなわれるよう、本職の大工を常用雇用し、本格的な木造建築を行っている市内の工務店が施工できるよう、下請負の条件をつけるなど、特段の工夫をすべきだと考えるがどうか。</p> <p>また、地域材の乾燥材の確保は、どのように準備する計画か伺う。</p>		市長	
2. 市庁舎の新築関係の工事の不具合を瑕疵担保期間内に完全に修復することについて	<p>市庁舎の新築関係工事の不具合を瑕疵担保期間内に、庭木の枯れたものの植え替えを含め、完全に修復する必要があると考えるがどうか。現在、どのような不具合が残っているのか、全て明らかにされたい。</p>		市長	
3. 二重燃焼する薪ストーブの購入に補助金を交付することについて	<p>平成 22(2010)年3月議会以来求め続け、市長も検討するとしてきたが、どうするのか。</p>		市長	

順位	2	質問者	藤木 邦明	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
4.新婚世帯の家賃支援補助金交付の年齢制限を45歳未満まで緩和することについて	結婚する年齢が高くなっている、新婚世帯の家賃支援補助金交付の年齢制限を40歳未満までから、45歳未満までに緩和すべきだと考えるがどうか。		市長	
5.まちづくり基本条例を真に市民本位のものとして作成することについて	まちづくり基本条例についての市民アンケートを見ると、まちづくりの基本的な考え方としての解答例の中に、一番重要な主権者である、「市民のみなさんの願いや声に基づき、まちづくりを進める」というようなものが多く、何のためのまちづくり基本条例なのか、市政のめざそうとしているものは何なのか、その基本がよく見えてこないがどうか。		市長	
6.庄原小学校等の新築を木造にすること等について	庄原小学校、東城小学校の新築については、木造にすべきだと考えるがどうか。 また、少人数学級に対応できる教室数を確保すべきだと考えるがどうか。		市長 教育長	

順位	3	質問者	岡村 信吉	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
1. 農業振興に関して	<p>(1) TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加可否をめぐる論議が進行しているが、これについての所見を伺う。</p> <p>(2) 水田荒廃防止と農家所得確保のため、休耕田への飼料用米・米粉用米の栽培導入は考えられないか伺う。</p> <p>(3) 22年産米に対し価格補てんを実施されたが、23年産米に対しても同様の対策を考えられるのかどうか伺う。</p> <p>(4) 被害が増大傾向にあるイノシシ等有害鳥獣対策について伺う。</p>		市長	

順位	4	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
1. 定住自立圏構想について	<p>住みたい街にいつまでも安心して暮らしたい。生活機能を地方圏の中に完結させることで、地方圏から大都市圏への人口流出防止を狙いとした定住自立圏構想が、昨年4月から本格的に始動している。</p> <p>人口減少が進む本市も積極的に推し進めるべきと考えるが、所見を伺う。</p>	市長		
2. うつ病・DV対策について	<p>日本では今、新たな社会問題が顕在化している。自殺者は年間3万人を超え、その原因のトップは健康問題、中でもうつ病が最多である。うつ病は年々増えており、有病者数は推計250万人に上るといわれている。</p> <p>また、DV（ドメスティック・バイオレンス）の相談件数は過去最高を記録している。</p> <p>（1）本市におけるうつ病の有病者数やひきこもりの実態をどう認識し、どのような対策を講じているのか伺う。</p> <p>うつ病などの治療法として注目を集めている認知行動療法という精神療法がある。この普及に向けて積極的に取り組むべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>（2）本市のDVの実態をどう認識しているか。DVに対して、本市としてどのような対策を講じているのか伺う。</p>	市長		

順位	4	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
3.ワクチンへの公費助成について	<p>国の平成22(2010)年度補正予算に、公明党が主張してきた子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を促進するため、特別交付金として1,085億円が盛り込まれた。補正予算は臨時国会で成立する見通しである。</p> <p>命にかかるワクチン接種に対して、本市として公費助成を実施すべきと考えるが、所見を伺う。</p>		市長	
4.期日前投票の簡素化について	<p>選挙の期日前投票は、現在受付窓口の職員の面前で投票人が住所や氏名、投票当日に行けない理由を宣誓書に記入しなければならない。高齢者から「手が震えたり緊張して大変だった」との声がある。</p> <p>宣誓書の記入が自宅でできるように、高齢者や障害者、その場での記入に戸惑いやすい人たちに配慮した手続きの簡素化を考えるべきだと思うが、所見を伺う。</p>		選挙管理委員会委員長	

順位	5	質問者	田中 五郎	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
1. クマ・イノシシとの共生社会をどう築くのか	<p>今年のクマ・イノシシの作物別被害面積と被害金額、旧市町別適正生息数と実生息数を伺う。</p> <p>また、過剰生息数に対する保護と駆除の実績及び保護・駆除対策の課題と対応について伺う。</p>		市長	
2. グリーン・ツーリズム型観光の推進を	<p>(1) 庄原市の立地条件、農林業が主要産業であることを考えると、通過型観光ではなく、グリーン・ツーリズム型（滞在体験）観光の推進が必要と考えるが、その現状と方向について伺う。</p> <p>(2) グリーン・ツーリズム推進（案）を設ける価値があると考えるが、推進体制をどうするのか伺う。</p>		市長	
3. 教育・文化行政の充実を	<p>(1) ふるさと教育の現状と方向について伺う。</p> <p>(2) 連携教育（幼・小・中・高・大・地域間）の現状と方向について伺う。</p> <p>(3) 文化施設の充実のため、旧町の議会スペース、新庁舎ロビー等の活用並びに宮田武義記念館の拡充整備について伺う。</p>		教育長 市長	

順位	6	質問者	中原 巧	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
1. 土木事業の発注遅延対策について	7月16日未曾有のゲリラ的集中豪雨により1名の尊い命が失われ 28棟の家屋が全半壊し、農地、農業用施設も甚大な被害が発生し、被災をされた皆様に心よりお見舞いを申し上げ、1日も早い復旧を願うものである。 ご案内のとおり、災害復旧の事務事業は、限られた期間にその業務を遂行することになっており、社団法人等（土木協会、森林協会、土地改良事業団体連合会等）や支所職員の応援を受け、着実にこなされてきていると拝察するが、一方、通常業務は未だに発注もされていないものもあり、既に師走に入り、雪が降る時期になった。特に山間部の事業は、より困難性をともなうことが予想される。地域住民も大変憂慮されており、職員のオーバーワークも心配である。 この際、社団法人等や支所からの動員を増やすなど工夫して、双方の事業が順調に執行できる体制を構築することが急務と思うが、所見を伺う。	市長		

順位	7	質問者	徳永 泰臣	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
1. 本市の農業に雇用を生み出せるか	<p>(1) 本市では、農業による雇用創出をどう考えておられるのか。</p> <p>わが国は、未曾有の経済危機等で、340万人の完全失業者が出ていているといわれている。今回のサンエーマイクロセミコンダクタ（株）が西城町から撤退し、80名以上の失業者が出てといった状況の中、その受け皿として、農業を志向される方もおられると思うが、農業で雇用の創出ができるのか伺う。</p> <p>(2) 仕事の選択肢としての農業を。</p> <p>就業に関して将来が読めない不安定な状況が続いているが、こうした状況の中、仕事としての農業への関心が高まっているように思う。農業を仕事の選択肢として考えるだけの情報と施策が必要と考えるが、どうか。</p>	市長		

順位	8	質問者	坂本 義明	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
1.まちづくり基本条例について	<p>条例制定に向け、精力的に策定委員会が開催されていると聞くが、どの程度まで進んでいるのか。また、中間報告をする予定はあるのか。最終的にいつごろ策定となるのか伺う。</p> <p>市民代表及び学識経験者等のメンバーで策定されていると思うが、広く一般の人々の意見を聞く場を持つ機会は計画されているのか。また、議会の意見を求められるのか伺う。</p> <p>まちづくり基本条例については、さとやまの小さい町を十分考慮し、庄原らしさを全面に出すべきであり、他の自治体と同じ内容では本来の意味をなさないと思うが所見を伺う。</p>	市長		
2.庄原さとやま博について	<p>イベントにアクセントをつけるために、JRを利用したSLの運行計画はできないか。</p> <p>また、さとやまのお母さんとして観光地（埋もれた）等のボランティアガイドの計画は現在どのようにになり、進められているのか伺う。</p> <p>さらに、さとやま博を開催してからの観光入込客数はどのように把握しているのか。今までのイベントにあまりにも依存しすぎているように思えるが所見を伺う。</p>	市長		

順位	9	質問者	谷口 隆明	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
1. 地域主権改革について	<p>民主党政権の地域主権改革は、憲法と地方自治法の精神を踏みにじり、国の社会保障などへの最低基準の保障責任を失くし、住民福祉の機関としての自治体の機能と役割を弱め、道州制を視野に自治体のさらなる広域化をめざし、地方自治の本旨をないがしろにし、自治体の二元代表制を事実上否定し、議会の形骸化と住民自治の縮小の方向が示されている。こうした改革方針には明確に反対し、市民の暮らしと安全を守る地方自治体本来の機能と役割を十分發揮すべきだと考えるが、所見を伺う。</p>		市長	
2. 「新しい公共」について	<p>市長は、自治振興区などを新たな公共の担い手と位置づけておられる。小泉構造改革から民主党政権に引き継がれた「新しい公共」という考えに立てば、自治振興区は本来の意味での住民自治の強化でなく、行政主導による住民参加・住民の動員につながる懸念がある。また、公的な業務を住民の負担に転嫁する意味合いが強くなる恐れも考えられる。本来の住民自治組織とは違うと思われて仕がない。改めてこれらの点について考え方を伺う。</p>		市長	

順位	9	質問者	谷口 隆明	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
3.介護保険の改善について	<p>平成23(2011)年は、第5期介護保険事業計画策定年度でその準備作業にかかる時期だと思う。介護保険の10年を振り返り改善すべき点について伺う。</p> <p>(1)改善点の基本は、制度を持続させるため、国庫負担を大幅に増やすこと、問題の多い要介護認定は廃止し、必要な介護を家族と介護事業所・介護職で決められる仕組みに戻すこと、特別養護老人ホームの待機者は、待ったなしの状況で、入所施設の緊急整備を行うこと、利用料・介護保険料の国としての軽減制度をつくることなどだと考える。国にこうした制度改善や財政措置を要望し改善していくべきだと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(2)在宅介護者の実態を調査し、その課題を総体的に把握して、きめ細かな相談訪問事業を行い、家族介護者の抱える悩みや困難を把握し、前向きに支援する行政の取り組みが必要だと考えるがどうか。</p>		市長	

順位	9	質問者	谷口 隆明	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
4. 東城クリーンセンターへの指定管理者制度の導入について	<p>(1) 耐用年数を10年以上も過ぎたし尿処理施設を民間へ委託して、トラブルへの対応なども含めて、行政の責任が果たせるのか。下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理事業等の合理化に関する特別措置法に関わるのはし尿処理施設だけだと思うが、なぜごみ処理施設も委託するのか。きめ細かな住民サービスも含め、全く処理系統が違う施設の管理を一共同企業体でできるのか。</p> <p>(2) 共同企業体で、ごみ処理技術管理士、し尿・汚泥再生処理施設技術管理士などを配置して、処理事務に従事する職員の監督責任を果たす体制がとれるのか。</p> <p>(3) 臨時職員の多くが70歳前後で、本当に安定的な管理が確保され、継続できるのか。また、両施設とも修理・修繕費用も増えてくる中、財政的な効率化にはつながらないと考え、何のための民営化か、理解できない。考えを伺う。</p> <p>(4) あまりに問題が多いので、4月からと急がず、慎重に対応すべきだと考える。本来、し尿処理施設の大規模改修とか、新しい処理形態になった時などに検討されるべき課題ではないのか。</p>		市長	

順位	10	質問者	小谷 鶴義	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
1. TPP問題について	<p>(1) TPP問題が急速に浮上してきた。市長の言う庄原市の基幹産業の農業が根本から崩れてくる。対農業対策が考えられていない状態で、農業者に大きな不安を与えており、11月14日付けの日本農業新聞は日米協議一致と報道。農業を経営としては考えられないと予測する。農業法人・集落営農・認定農業者等、農業を経営として考え、自立していくことの難しさが出たのではないかと思うが、輸出を含めチャレンジのチャンスと発言する農家もいる。広島県農業会議会長として、農業会議等に出席、また他県の視察等をされているが、他県の現状、本県の農業対策、畜産を含め参考になることもあるのではないか、考えを伺う。</p> <p>(2) 湯崎県知事も賛成の意向と報道された。北部農業に及ぼす影響も、広島県農業の次なる構想もないままの賛成の意向というのはいかがなものかと思うが、知事の発言についての思いを伺う。</p>		市長	

順位	10	質問者	小谷 鶴義
項目	質問の小項目及び要旨	答弁を求める者	
2. グリーンケミカル株式会社の操業について	今年度一部操業開始と聞いていたが、その後の進捗状況について伺う。	市長	
3. 教育格差について	最近、教育格差は正等、教育格差という言葉をよく耳にするが、教育委員会は教育格差について、どう思っているのか伺う。	教育長	

順位	11	質問者	林 高正	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
1. 発達障害児について	<p>近年、医学等の進歩により、発達障害の子どもたちの早期発見が可能となってきた。しかし、専門医が不足しており、実際には保育所や幼稚園、小学校で、職員が対応していると聞いている。本市における発達障害児に対する処遇はどう行なわれているのか。具体的には、検診の実施状況、保育所や幼稚園での対処、さらには、小学校との連携はなされているのか。そして、それぞれの現場が抱える課題解決に向けて取り組んでいる実態もあわせて伺う。</p>		市長 教育長	
2. 知的障害者について	<p>知的障害者の親御さん達が高齢化している現実がある。万一、突然に親御さんが亡くなられた場合などを想定すると、何らかの施設が必要と考える。現在、市内にはそのような緊急避難的施設はいくつあるのか。あるとすれば、利用状況を伺う。</p> <p>さらに、将来的な知的障害者に対する本市の具体的行政施策（案）について伺う。</p>		市長	
3. 集落支援員制度について	<p>過疎地域では有効な制度だと理解しているが、導入の予定を伺う。</p>		市長	

順位	11	質問者	林 高正	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
4. 未来を支える人づくりについて	<p>視察で、島根県隠岐郡海士町の教育委員会に伺った。『未来を支える人づくり・・・人間力溢れる海士人の育成』が教育委員会のキャッチフレーズである。各種取り組みをされているが、何といっても注目は、平成17年から実施している海士中学校の東京への修学旅行である。初年度は一橋大学で中学生が海士町を題材にして大学生に講義を行った。平成20年からは東京大学で、地域と自分の夢について1000人の前で発表している。</p> <p>このことだけの効果ではないが、島外の高校に5割強の生徒が進学していたのだが、平成19年度には5%が島外、95%が地元の隠岐島前高校に進学した。次は、小さな島でも日本一の教育をスローガンに、保・小・中・高の連携教育にプラスして、食育、地域教育の理念に基づき地域共育課を設置された。</p> <p>そこで、庄原人の育成はどのようにされているのか、現在の状況と将来構想について伺う。</p>	教育長		

順位	12	質問者	福山 権二	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
1. 林業振興について	<p>本市域の 84.2%は森林である。広大な森林を有効に森林資源として活用することは、農林業振興の重要な課題である。</p> <p>そこで、林業振興に関する、次のことについて見解を伺う。</p> <p>(1) 本市の林業振興の基本視点は何か。</p> <p>(2) 現在、林業振興を担当する職員配置は、農林振興課に林業振興係として 2名であるが、市長の施政方針から判断して、増員配置すべきではないか。</p> <p>森林整備は環境対策に連動した重要な課題であり、本市は、新たに「森林整備課」を設置して、森林整備に特化した組織を配置すべきではないか。</p>		市長	
2. 地籍調査について	<p>(1) 本年度の施政方針で市長は、「林業振興では、林内路網整備や森林境界の明確化を推進します。」と表明しているが、森林境界の明確化とは、山林部の地籍調査を実施するという意味か。</p> <p>(2) 本市の地籍調査は、全市面積の何%が完了しているのか。山林部の地籍調査は森林面積の何%が完了しているのか。森林振興のためには、山林部の地籍調査が必要だと考えるがどうか。</p>		市長	

順位	13	質問者	門脇 俊照	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
1.社会保障関係費について	<p>平成22年度地方財政計画では「地域のことは、地域で決める」地域主権の確立に向けた制度改革に取り組み、地域に必要なサービスを確実に提供できるよう、地方財政の財源を確保することで、住民生活の安心と安全を守るとともに地方経済を支え、地方の活力を回復させていくとしている。</p> <p>平成22年度一般会計で、社会保障関係の民生費は72億3,447万円（対前年度比20%増）で、特別会計の福祉関係は年々増え続けている。少子・高齢化・過疎・子育て・教育・介護・年金・貧困などの社会保障費は増え続け、予算的にも心配なところである。</p> <p>そこで、社会保障関係費について伺う。</p> <p>（1）国においての社会保障関係費は5部門プラス、恩給、戦争犠牲者援護とされているが、本市の場合の社会保障関係は、予算の上でどこからどこまでを示すのか改めて伺う。（その額、予算に占める割合）</p> <p>（2）今後、庄原保育所、庄原中学校、東城自治総合センターなどの建設が予定されているが、このことにより社会保障関係費が影響を受けることがあるのか伺う。</p>	市長		
2.防災行政無線について	開設を検討されていると思うが、今後どのように推進していく見込みなのか伺う。	市長		